

お客様のビジネスを加速させる  
ビジネスカーのワンストップサービス  
車両管理のベストプランをご提供



オリックス自動車のカーリースは国内5万社に選ばれています!



車両導入～メンテナンス・管理～処分まで  
ビジネスカーのライフサイクルをオールインワンでカバーします。

オリックス自動車なら、まとめて任せて安心です。

- ▶ **コスト DOWN** 年間7万台の新車購買力をリース料に還元!
- ▶ **安全・環境対策** 定期的な適正メンテナンスの実施で、環境・安全対策が万全!
- ▶ **ビジネス力強化** 煩雑な車両管理業務をアウトソーシングし、自社ビジネスに集中
- ▶ **コンプライアンス対策** 導入から処分までコンプライアンス対策も完璧!

国内車両管理実績 **91万台** (2011年9月末現在)

オリックスのサービスに関する  
お問い合わせは

オリックス自動車オートデスク  
0120-773-600  
受付時間: 10:00~18:00(土・日・祝日休み)



大量購入だから安く買える!  
オリックス自動車のスケールメリット  
そのまま、貴社のメリットに!

## 車両導入



### メリット1

面倒なディーラー交渉や必要なオプション手配も  
全部まとめて対応してもらえるから便利!

年間7万台の新車購買力でコストダウンを強力に支援します

オリックス自動車はお客様のご要望を元に、年間7万台の新車購買ネットワークの中から最適な条件で車両調達を行い、リース車両としてご利用いただいています。

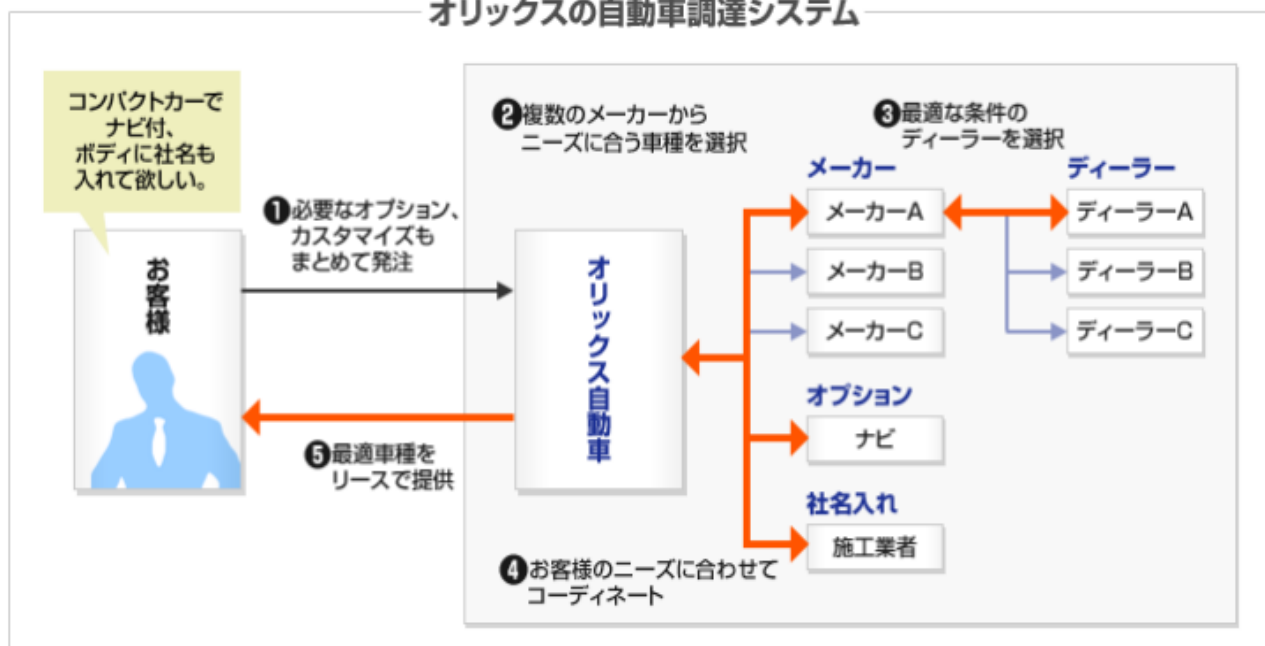
自動車ディーラーとの面倒な交渉などはすべてオリックス自動車が行います。

(※お客様のご要望で購入ディーラーの指定も承ります。)



## 社用車調達の手間もオールインワン

### オリックスの自動車調達システム



## オリックス自動車のカーリースは全メーカー全車種からご選択頂けます。

※一部お取り扱いができない場合がございます。予めご了承ください。

最新のハイブリッド車を一斉導入して環境対策、エコカーで燃費改善してコスト削減など、お客様のニーズに合わせクルマの導入が可能です。



### 車体への社名入れなど仕様はオーダーメイド

カーナビゲーションやETC車載器などのオプションもすべて選択可能。車体への社名入れなど、お客様専用の仕様でご契約いただけます。



カーリースで契約の75%が選択!  
メンテナンスリースなら不意の故障や  
トラブルでの業務の損失を回避!

**安全・環境**



**メリット2**

忙しくて仕事で使うクルマのメンテナンスまで手が回らない!  
故障やトラブルも不安だ…

メンテナンスリースなら安心安全もセットで付いてきます

意外に多い、イザというときの業務上の車両トラブル…。「メンテナンスリース」は、お客様に代わって車両の使用状況に応じて定期的に点検・整備を実施。定期的なメンテナンスで故障を未然に防ぎ、常に良好なコンディションの車両を安心してご利用いただけます。しかも、訪問点検なので点検・整備のつど工場に車両を搬入する手間もありません。  
“突然の故障でクルマが使えない!”“営業や配達途中で故障してしまった”など時間的損失、業務の損失を回避することができます。



**メンテナンスリース**

メンテナンスリースは当社指定整備工場にて、以下のメニューが受けられます。

- ・コンディションチェック  
お客様のクルマを定期的(3ヶ月~6ヶ月毎)に指定サービス工場が訪問して点検を行います。
- ・オイル交換
- ・タイヤ交換(契約本数)
- ・バッテリー交換
- ・一般整備/消耗品交換  
プラグ・電球・ファンベルト・エレメント・ロングライフクーラント等
- ・車検・法定点検
- ・故障修理
- ・代車提供(車検・修理に48時間以上かかる場合)

<メンテナンススケジュールの一例>



**環境対策につながる定期的なメンテナンス**

- 整備不良が引き起こす環境問題の一例
- ・各パーツの劣化に伴う性能の低下(=CO2排出量の増加)
  - ・タイヤの空気圧の低下(=燃費の低下)
  - ・整備不良に伴う路上故障の発生(=洗滞発生)

メンテナンスリースによる  
定期点検・適正整備の実施

= 環境負荷低減



突発的な故障や事故にも、24時間365日万全の体制でフルサポート  
**「オリックスセフティーサービス24」**

突然の車両の故障や事故などの不測のトラブルが起こった場合、フリーダイヤルにお電話いただきますと「オリックスセフティーサービス24」につながります。全国どこからでも自動的にオリックス自動車「オリックスセフティーサービス24」受付センターにつながり、専門のベテランスタッフが24時間365日体制で迅速かつ的確に対応します。



全国どこでも安心のネットワーク



オリックス自動車の提携整備工場は全国に12,000箇所。だから、日本全国どこでも安心してお使いいただけます。



煩わしい車両管理業務から解放!  
自社のビジネスに使える時間を  
増やして業務加速力がUP!

**車両管理**



**メリット3**

事務や経理に時間をかけられない!  
車両管理業務を任せられると本業に集中できる

オールインワンで車両管理業務を最大約90%削減

煩わしい車両管理業務はオリックス自動車に引き受けます。約35項目の車両管理業務は、オリックス自動車に長年蓄積したノウハウで体系的に管理され、最適な車両管理サービスをご提供します。



車両管理業務を最大約90%削減! (35項目⇒3項目)

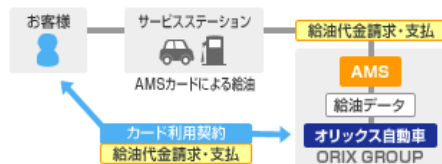


■ 貴社の車両管理をさらにサポートする各種サービス

(※サービス提供条件は、保有10台以上のお客様に限ります。)

■ 給油カード(AMSカード)

- ・「JX日鉱日石エネルギー(ENEOS)」、「昭和シェル石油」、「コスモ石油」ブランドの全国のサービスステーションで利用が可能。
- ・給油の適正管理が容易となり燃料以外のコストを削減できます。
- ・支払業務の当社への一元化ができます。
- ・全国一律価格で給油ができるため、燃料コストの平準化が図れます。
- ・カードの有効期限はリース契約に連動しているため、カードの期限管理が不要です。



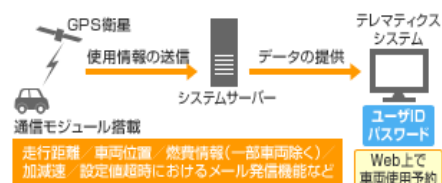
■ ETCカード

- ・ETCマイレージサービスへの登録および変更手続きはオリックスが代行します。
- ・車両ごとにETCカードを発行しますので、車両ごとの利用状況が把握できます。
- ・車両情報の管理ができるため、不正利用等をチェックすることも可能です。
- ・ETC専用カードのため、クレジット機能はありません。



■ テレマティクスサービス

- ・環境対応をサポート <エコ運転診断>
- ・コンプライアンス業務をサポート <運転日報自動作成>
- ・安全運転体制をサポート <危険挙動情報提供>
- ・車両の有効活用をサポート <予約システム>



■ リスクマネジメントサービス

自動車の使用・管理には、交通事故・法的規制・保険に関する問題、労務管理上の問題など、特有の問題点(リスク)が伴います。リスクマネジメントサービスは、これらの問題点をマネジメント(リスクマネジメント)し、お客様における自動車の有効管理と経費削減を強力にバックアップするサービスです。





何かと気を遣う古くなった社用車の  
処分や売却。コンプライアンスを  
遵守できる会社に任せませんか？

**適正処分**



**メリット4**

リース終了後の車両の処分や、リース導入で不要になる  
古い社用車の売却も適正に対応して欲しい

**オリックス自動車はコンプライアンス遵守のシステム**

リース契約終了後のご返却車両の処理についても、オリックス自動車なら安心で、エコ！  
お客さまがリースでご利用いただいた車両は、コンプライアンスを遵守し、オリックス自動車が責任を持って適正処分  
しています。  
また、リース導入時に不要となる保有車両の売却についても、当社独自の売却システム“オートビット”にて、メリットの  
ある売却の提案とサポートをいたします。

**リース契約終了後の車両の適正処分！**

リース終了後、2次利用できる車両は、名義変更・看板剥離を徹底実施し、コンプライアンスを遵守した売却処理を行っています。2次利用できな  
い車両は解体し、部品のリサイクルを積極的に行うことで、環境保護に貢献しています。

**リース契約  
終了後  
の車両**

コンプライアンスと  
環境を意識した  
適正処分



2次利用  
できる車両

2次利用  
できない車両

**看板剥離・名義変更をきっちり実施し中古車として再販**

お客様の企業ロゴ等が入った車両は、きっちりと看板剥離後、当社が運  
営する中古車入札会で売却。また、使用者の名義変更などの事務処理も  
徹底管理していますので、コンプライアンス面も安心！

<看板剥離の施工の一例>



ステッカー等の剥離作業 磨いて日焼け跡を消す 跡が残らないキレイな状態

**解体後、部品を再利用することでリサイクル活動に貢献**

当社提携先の解体業者に車両を売却し、解体後、自動車部品を  
再利用することで、積極的にリサイクル活動を推進！



**保有車両の売却もオリックス自動車で！**

リース導入時などに不要となる保有車両の売却も、オリ  
ックス自動車の買取サービス「オートビット」にお任せくださ  
い。買取らせていただいた車両は、自社運営の中古車  
入札会で直接売却いたします。車両売却をご検討の際  
は、ぜひご相談ください。

**オリックス自動車で売却するメリット**

- コンプライアンスを遵守し適正処分するので車両  
売却後も安心！
- 魅力的な価格で売却できます！

**オリックス自動車が高額買取できるヒミツ**



※上記グラフは、お客様のメリットをわかりやすくイメージ化したもので、  
実際に売却される車両や売却時期によって、買取り価格やマージンは異なってきます。

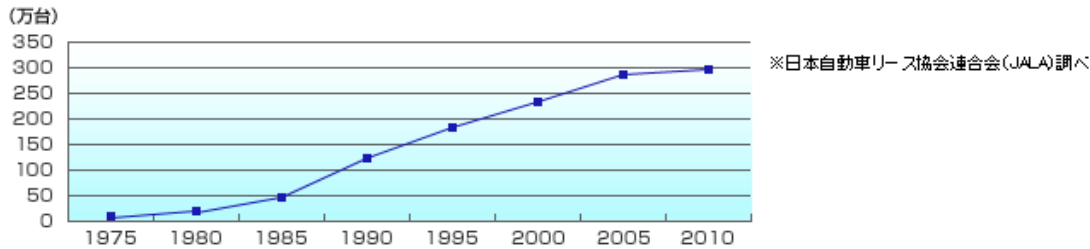
## 効率化する企業の車両管理



# 現在、すでに約300万台。 リースの利用が年々増え続けています。

現在日本国内では約300万台の車両がリース車両です。年々リースを採用する企業は増え、保有台数30台以上の企業の約半数(\*)がリースを採用していると言われています。(※矢野経済研究所調べ)

### 自動車リース保有台数推移



### リース利用と自社所有の違い

リース利用		自社所有
リース料で月々一定額の支払い	車両代	購入時にまとまった資金が必要
リース料に含まれる	税金・保険料	都度一時払い
リース料に含まれる ※1	点検・整備	都度一時払い
リース会社	所有者名義	お客様
お客様	使用者名義	お客様
全額経費処理 ※2	経費処理	固定資産として計上
最大約90%の削減効果	車両管理業務	すべてお客様で実施
車両返却	車両処分	売却・経理処理

※1. メンテナンスリースとしてご契約の場合。  
※2. リース資産として資産計上、減価償却が必要になる場合がございます。



### オリックスの提案

オリックス自動車なら、クルマの使い方も自由自在でコスト削減！

リース・レンタカー・カーシェアリングの3つの商品を組み合わせてご利用いただくことで、車両台数の最適化(=コストダウン)を実現！



繁忙期に合わせて車両台数を揃えると、繁忙期以外に稼働しない車両が出てしまい非効率となります。必要台数のみをリースで導入し、繁忙期など多くの車両を必要とする期間はカーシェアリングやレンタカーを採用すると、効率的な車両管理やコスト削減をすることができます。

### 車両保有台数の最適化

企業ニーズに  
マッチ

大幅コストダウン  
環境負荷軽減



#### ◆ ビジネスレンタカー

オリックスのレンタカーネットワーク(オリックスレンタカー、レンタカージャパン、エックスレンタカー)は全国に約800店舗。デイリーレンタルやマンリースレンタルを法人料金でご利用いただけます。車種ラインナップは普通車からバス、トラック、マイクロバスなど様々なビジネスシーンにご活用ください。

#### ◆ ビジネスカーシェアリング

オリックスカーシェアは最短30分から15分単位で利用できる新しいクルマの乗り方。月額基本料と時間料金・距離料金には、ガソリン代・税金・自動車保険料(任意保険)費用・駐車場代などが含まれているので、コストも明確。全国に730箇所、1,000台超を配備。

## リースバック方式



## 現在の保有車両を、そのままリース車に変身させるリースバックをご存知ですか？

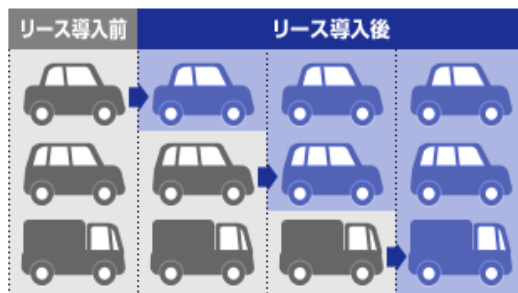
リースバック方式の導入で、リース車と自社所有車との混在がなく、管理業務が一挙に軽減されます。



現在お客様が所有されている全車両をオリックス自動車が帳簿価格で購入。そして車両1台ごとの使用年数に応じたリース期間を設定して、そのままリース車としてご利用いただく方式です。

### リースの導入方法

#### 順次入替方式

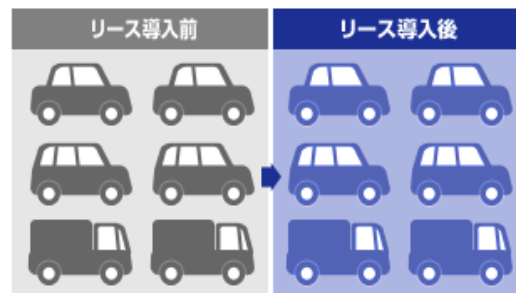


煩わしい管理業務は徐々に軽減されます。

現在ご使用中の車はそのままご利用いただき、買い替え、あるいは増車の都度、順次リースに切り替えていただく方式です。

#### リースバック方式

導入メリットを最大限活用!



煩わしい管理業務が一挙に軽減。リースバック方式なら、オートリースのメリットを最大限に活用できます。

現在お客様が所有されている全車両をオリックス自動車が帳簿価格で購入。車両1台ごとの使用年数に応じたリース期間を設定して、そのままリース車としてご利用いただく方式です。

#### リースバックの流れ

- 1.リース開始日を決定します。(購入簿価の決定)
- 2.リース料に含まれる諸費用を決定します。(メンテナンス、任意保険の内容等)
- 3.車両一台ごとの使用年数に応じたリース期間を設定します。(リース期間が3ヶ月未満は対象外)
- 4.すべての車両を帳簿価格で購入します。(リース実行後45日以内にお支払いします。)
- 5.対象車両の名義変更を行います。(所有者名義がオリックス自動車に、使用者名義がお客様になります。)

#### 決算書の変化

リース導入前		リース導入後	
B/S	借方	B/S	借方
	科目	科目	金額
流動資産	現金	現金	△△百万円
	商品	商品	↑
	その他	その他	↑
固定資産	有形固定資産	有形固定資産	
	車両運搬具	車両運搬具	
P/L	売上	売上	
	原価	原価	
	粗利益	粗利益	
	販管費	販管費	
	減価償却費(車両)	減価償却費(車両)	↓
	リース料(車両)	リース料(車両)	□□百万円
営業利益	営業利益		

リース資産として資産計上、減価償却が必要となる場合があります。

#### 【ご注意】

一般的にリースバックは税務上金融取引とされるのに対して、車両リースバックはお客様所有車両を一括で、加えてメンテナンスを付加し車両管理の合理化を図ることを目的とした取組みとすることで、リース会社からお客様へのリース取引は、その経済的合理性を根拠に税務上所有権移転外ファイナンスリース取引としての取り扱いが認められます。しかし、特定の車両だけを目的としたリースバックは仮にメンテナンスを付加していても、その経済的合理性が認められず、税務上金融取引とされる場合がありますのでご注意ください。